

様式第2号（第5条関係）

審 議 会 等 会 議 録

発 言 者 ・ 会 議 の て ん 末 ・ 概 要

司会（田中主幹）

皆様こんにちは。定刻になりましたので、ただいまから令和7年度第1回久喜市生涯学習推進会議を開会いたします。私は、本日の司会を務めます、生涯学習課主幹の田中と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、お忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

本日の出席者は16名でございます。この人数は、久喜市生涯学習推進会議条例第5条第2項の規定に基づきまして、委員の過半数の出席となりますので当会議が成立していることをご報告させていただきます。

なお、本日は、高橋委員、細川委員、諸橋委員から所用のため欠席する旨の連絡をいただいております。

また、本年度より新たに委員となった方が2名いらっしゃいますので、ご紹介いたします。久喜市内高等学校校長会より、相模幸之委員です。

あと遅れてまいります、久喜市内小中学校校長会より、野間口研道委員が新たに委員となっております。

それでは、相模委員から一言ごあいさつをいただければと存じます。

相模委員

改めまして、こんにちは。

今ご紹介をいただきました、埼玉県立鷺宮高等学校の校長の相模と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。下の名前がちょっと読みにくいのですが、この漢字で「ひでゆき」と読みますのでよろしくお願いします。

久喜市内の県立高校ということで、こちらの会議に参加させていただき光栄に思います。また本校といたしましても、できる限り久喜市の生涯学習の推進のために尽力させていただこう

と思いますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

司会（田中主幹）

ありがとうございました。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、委嘱書につきましては、あらかじめ机の上に置かせていただいております。

続きまして、会議に移る前に2点、皆様にご了承いただきたいことがございます。

1点目は、会議の進め方等についてでございます。久喜市審議会等の会議の公開に関する条例に基づき、会議は原則公開とさせていただきます。公開の会議につきましては、傍聴の希望者がいれば認めることとしております。

なお、本日の傍聴者につきましては、今のところおりません。

2点目は、会議の会議録の作成についてでございます。会議録は概ね1か月以内に、公文書館閲覧室への配架及び市ホームページで公開することとしております。会議録の作成のため、録音をさせていただきます。音声を拾いやすいように、発言の際にはマイクを使用させていただきますようご協力をお願いいたします。発言は、マイクが到着するまでお待ちください。

なお、当協議会では、会議録の確認及び署名を議長にお願いし、会議録を公開しておりますのでご了承願います。

それでは、本日の資料を確認させていただきます。

本日の会議資料でございますが、最初に次第、

次に、久喜市生涯学習推進会議委員名簿、

次に、資料1、久喜市生涯学習推進会議条例、その他規則、

次に、資料2、令和6年度生涯学習関係事業報告書、

次に、資料3、第13回久喜市生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」報告書、

次に、資料4、第14回久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」実施概要でございます。

最後になりますが、【質問への回答】久喜市生涯学習推進会議、以上7点でございます。

もしお手元に資料がない方がいらっしゃいましたら事務局までお申し出いただきたいと存じます。

皆様よろしいでしょうか。

(資料の不足確認)

それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。

はじめに、影山議長からごあいさつをいただきたいと存じます。

影山議長よろしくお願いいたします。

影山議長

改めまして、おはようございます。

今日、この推進会議を開催するにあたりまして、しばらく前から非常に私自身緊張しております。その理由は、やはりこの会議の重要性というのは、多分私だけではもちろんなくて多くの方が注視しているのではないかなと思うからです。その中で、議長という立場にいて、何もできない自分がとても申し訳なく、そういう意味で非常に緊張していて、期待できるのはここに皆さんにお集まりいただき、いろいろ審議をする中で、久喜市の生涯学習に関して非常に前向きに進んでいくのかなというところが私の1つの希望であります。

議長というだけで何もできない私ですけれども、とりあえず今日この会議が成功裏に終わり、皆様のご意見が反映されるようにできればいいかなと思っております。

至らない議長ではありますが、この後、司会を行うわけですけれども皆様のご協力をよろしくお願いしたいと思います。

司会（田中主幹）

ありがとうございました。

続きまして、山田生涯学習課長からあいさつを申し上げます。

山田課長

皆様、改めましてこんにちは。生涯学習課長の山田と申します。

本日は、大変お忙しい中、令和7年度第1回久喜市生涯学習推進会議にご参集いただきまして、誠にありがとうございます。

また、委員の皆様におかれましては、日頃から本市の社会教育並びに生涯学習の推進にご尽力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、去る6月7日に第13回久喜市生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」が盛大に開催されました。今年は、寄り添う地域、学校、家庭というテーマで、幅広い世代の方々に討論をしていただきました。学校と地域をつなぐための第一歩として、気軽に声をかけ、困ったときに誰かに助けを求められる関係を築くという考えが全グループに共通していました。討論結果を踏まえ、個人単位で身近なところから関わりを持つことの重要性を再認識いたしました。久喜市生涯学習推進会議並びに推進部の皆様には、改めて感謝申し上げます。

また、令和8年2月には、第14回目となります久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」を開催する予定でございます。委員の皆様におかれましては、引き続きお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、委員の皆様のご健勝にてのご活躍を祈念申し上げまして、誠に簡単ではございますが私からのご挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

司会（田中主幹）

それでは、議事に入らせていただきます。

議事の進行につきましては、久喜市生涯学習推進会議条例第5条第1項の規定により、影山議長をお願いいたします。

影山議長

それでは、皆様のご協力をいただきまして、しばらくの間、議長を務めさせていただきたいと思っております。

それでは、議事に入ります。

はじめに、議事の1、令和6年度生涯学習関係事業報告についてです。

今回、委員の皆様には事務局から事前に資料が送付されて、ご質問のある方はメールで連絡をとということかと存じます。質問に対する回答については、事務局よりご説明をお願いしたいと思います。

それでは、よろしくお願いいたします。

山田指導主事兼主幹

失礼いたします。事務局の山田でございます。

ご質問をいただきありがとうございます。

事前に横須賀委員よりご質問をいただきましたので、皆様のお手元の資料に基づきご説明させていただきます。

ご質問をいただきました内容につきましては、学校の授業終了時に、児童・生徒に居場所を提供することは非常に良いことだと感じます。令和6年度は2,838人の児童が参加、371講座を開設、児童の参加率42.7%とあります。この2,838人は延べ参加人数でしょうかというご質問でございます。

内容につきましては、放課後子ども教室ゆうゆうプラザについてでございますが、その質問に対してお答えをさせていただきます。まず、人数の2,838人は、昨年度の参加児童の総数で延べ人数ではございません。市内全校児童数6,654人に対し、各ゆうゆうプラザへ申し込み、活動した児童の人数の総数を示しております。

なお、2,838人は、各ゆうゆうプラザにおいて1度以上開設している講座へ参加した児童の人数です。各ゆうゆうプラザでは、1日に複数の講座を開設し、児童が選択、参加をしている場合もございます。

また、講座の開設は各ゆうゆうプラザの実施委員やサポーターの状況に応じて、開設日数や開設講座を決定しているために異なります。令和6年度において、一番多いゆうゆうプラザでは最大49講座を実施したところもございました。

ゆうゆうプラザの活動につきましては、学習活動、スポーツ活動、文化芸術活動、イベントなど多岐に渡ります。学習活動ではロボット製作やサイエンスラボなど、スポーツ活動では球技や武道、ダンスなどを行っています。文化芸術では陶芸やフラワーアレンジメントなど、イ

ベントでは芋掘りや親子で料理をするなどをしております。

ここで挙げたものは一部ではございますが、久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」でも掲示物や作品、児童の活動発表などを予定しておりますので、ぜひご覧いただければと思います。

以上でございます。

影山議長

ありがとうございました。

ご質問に対してのご回答はこれでよろしいですか。

横須賀委員

はい、十分答えていただきました。ありがとうございます。

多岐にわたって活動されていること、また、久喜市の児童の内、半数近い人が参加されているということで非常に高効率だと考えております。

ありがとうございます。

影山議長

ありがとうございました。

その他の生涯学習課関係事業に関する質疑を受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

発言する方はマイクをお持ちしますので、その間、少々お待ちください。

少しお時間いただきたいと思います。いかがでしょうか、どうぞお考えください。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

桐谷委員

桐谷です。

どなたも手を挙げないので、黙って帰るのも寂しいので一言だけ。

実はこの学習施設については、生涯学習施設の利用の促進という項目が入っているのですよ

ね。実際は、市民大学と高齢者大学の事業に使っている他、一部団体の会議だとか市の行事の会議だとかに使われていると思うのですが、より開放されるというような予定はないのでしょうか。

せっかくの施設なので、他のコミュニティセンターや集会所等の抽選に申し込んで、はずれるという声を大分聞いていて、使えないという声もありますので、そういう面だと生涯学習に関わるような団体については、こちらの施設も提供できるような形にされたらどうなのかという思いであります。

なお、この施設の管理を担当しているのは生涯学習課で、専門の方がいるわけではないので業務の傍ら、鍵の対応だとか確認だとかいろいろ業務が増えてしまうと思うのですけれども、現状はどのようなのでしょうか。

以上です。

影山議長

はい、では回答をお願いしますか。

鈴木係長

はい、生涯学習課の鈴木と申します。

桐谷委員、ご質問どうもありがとうございました。

ご質問は、生涯学習施設の現状と利用をさらに広げて外部への貸し出しが可能かどうかというようなお話だと思います。生涯学習施設は、先ほど桐谷委員のおっしゃっていたとおり、他のコミュニティセンターなどと異なっておりまして、庁舎の一部を利用しているため、庁舎の管理や構造上の問題等がございまして、外部への貸し出しの拡大は現状難しいのかなと考えているところでございます。

また、現在市民大学ですとか高齢者大学、生涯学習推進部などの活動等にに使わせていただいているのですけれども、この活動により、結構施設利用の空きがないところもございまして、そのようなことも踏まえると、現状外部への貸し出しは難しいと考えておりますので、そのような活動につきましては、市内各所にコミュニティセンターですとか文化会館等がござい

ますのでそちらをご利用いただければと考えております。

以上です。

影山議長

はい、桐谷委員いかがでしょうか。

桐谷委員

はい、現状はよくわかります。

ただ今後、利用団体からの申し込み等があったら個別判断されて、対応されるということは可能なのですよ。無制限ということではなく、当然生涯学習の団体活動の延長で、その団体が任意団体だということがはっきり認知される場所について、営利を目的としないような一般的な団体の発表会だとかそういう会議だとかに対応することは可能なのですよ。原則オープンにしていないということではなくて、原則オープンなのですよ。

山田指導主事兼主幹

現状、どのように施設を利用しているかというと、例えば、来月11月を見てみると、市大生や高大生のクラブ活動などで、この会場や隣の会議室は平日午前も午後もほぼ授業以外で埋まっている状況でございます。

ですので、現状では生涯学習の団体を認知して、利用許可をするようなことはしておりません。規定として、市大生ですとか高大生ですとか、そういった方々の活動のための施設として空いている場合にはご活用いただいております。

桐谷委員

ごめんなさい。ちょっと項目が今見つからないのですが、生涯学習関連施設の利用促進という項目があったと思うのですが。



鈴木係長

先ほどから重ね重ねになるのですがけれども、施設の利用は市民大学、高齢者大学、生涯学習課で所管している人材バンクの講座や生涯学習公開出前講座とか生涯学習関係事業があるので、その他教育委員会の各種事業に利用しているところです。そのようなところでの利用の促進ということで、外部への利用拡大というのは難しいと思っています。

影山議長

よろしいですか。

ちょっと申し訳ないのですが、私自身もよく聞き取れない部分があってこのような回答でした。その他にございますか。

それでは続きまして、議事の2、第13回久喜市生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」の報告について、事務局からのご説明をお願いいたします。

鈴木係長

はい、それでは私から第13回久喜市生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」の報告についてご説明させていただきます。

本日お配りしております資料の3をご覧くださいいただければと存じます。

第13回久喜市生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」ですがけれども、先ほど山田課長のあいさつでもありましたが、令和7年6月7日土曜日、生涯学習施設で開催いたしました。大会テーマは、寄り添う地域、学校、家庭ということで、当日は総勢86人の方にご参加いただきました。

参加者は、小中学校のPTAの方、小中学校教職員や市内高等学校の生徒で、本日も越しいただいている相模校長先生の鷺宮高校の生徒さんにもご参加いただきました。また、高齢者大学、市民大学の学生、コミュニティ協議会の方、社会教育委員、生涯学習推進会議の方、一般参加申し込みされた方や生涯学習推進部の方を中心に盛大に開催することができました。

内容につきましては報告書のとおりでございますが、この報告書は、本日も参加の井上委員の方から市長にもご報告をいただきました。また、市職員全員が閲覧する職員掲示板にも報告

書を掲載させていただきました。報告書には、地域の皆様からいろいろな行政課題やご意見などをいただいておりますので、職員の情報共有が図れるように職員掲示板に報告書を掲載したところでございます。

「まなびすとフォーラム」については、ケーブルテレビ久喜の取材を受けて放映もされましたので、これからその映像をご覧いただければと思います。

（「まなびすとフォーラム」の映像視聴）

映像は以上になります。

先ほどお話したのですけれども、当日は多くの高校生にご参加いただきまして、若い方と地域の方との意見交換などができたのが非常に良かったという感想を高校生から多くいただきました。高校生は約10名の参加だったのですが、各学校のご協力をいただければさらに多くの生徒さんに参加をいただいて、幅広い世代のご意見等を「まなびすとフォーラム」で交換していければと思います。

また、来年度も実施する予定でございますので、皆様もよろしければご参加いただけると幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

影山議長

先ほど映像見ていただきましたけれども、何かこの件に関して皆様の方からご質問とかございますか。

はい、坂本委員お願いいたします。

坂本委員

質問というか私自身がちょっとわからないところがあるので教えていただきたいのですけれども、3ページのグループ討議の結果の要約ということで、もしわかるなら教えていただきたいのです。1グループの2番の地域のインターンシップや実習体験、多分高校生の方からの意

見ではないのかなと思うのですが、このインターンシップの実習体験というのは、体験場所が久喜市内なのか埼玉県内なのか。

残念ながら久喜市内には、インターンシップで行けるような大きな企業を私は思いつかないので、あるいは大学とかですね、そこはどこなのかをこの討議に出席された方で何かわかれば教えていただきたい。

もう1点は、私の子どもや孫はもうとくに学校を卒業しているのでわからないのですが、3グループの地域のPTA組織の検討だとか、5グループのPTAと地域を繋ぐという部分に私自身がちょっとピンとこないので、もしよろしければ教えていただきたいなというふうに思います。

影山議長

よろしいですか。

はい、ご回答の方お願いいたします。

山田指導主事兼主幹

はい、ご質問をありがとうございます。

まず、1グループのインターンシップや実習体験ということなのですが、実習体験等につきましては、坂本委員のおっしゃるとおり高校生の意見の部分で、基本的には自分たちが職場体験をしていきたいというご意見が出ておりました。

中学生の段階では職場体験学習というものがあり、地域の企業にお世話になったりするのですが、そういったものを自分で選んで興味のある企業とかに行ってみたいという話は出ていたのですが、埼玉県内のことなのか久喜市内のことなのかというところまでは申し訳ありませんが把握しておりませんので、このような回答になってしまいますが、高校生としてインターンシップの実習体験をしたいという意見でございました。

坂本委員

例えば、宮代町に日本工業大学という立派な大学があって、蒸気機関車を構内で100メートル

ぐらい走らせるのを、私の孫とかを連れて見に行って、それをSNSに載せたところ知り合いの鉄道ファンが、あの蒸気機関車は明治時代の初期にイギリスで製造したものを持ってきて、しかもそれをメンテナンスして今動いているというのは奇跡のようなものなのだっていうふうに教えてもらいました。

すごいことをやられているのだなと、そういう大学などは久喜市にはないので、そういうところを見せたら大学にもっと興味を持てるかなと思ったりしまして、それを何とか、インテグレーションする組織というものは、多分できないですね。例えば、本人の希望する企業などを紹介する窓口とかはないですね。

山田指導主事兼主幹

インターンシップの斡旋を生涯学習課で実施しているかということでしょうか。

生涯学習課で斡旋は行っておりません。

鈴木係長

はい、補足になりますけれど、基本的にインターンシップなどは就職に係る部分が大きいので、やはりご自身で動くのが基本なのかなと思います。またそれとは別に、他の企業のことはよくわかりませんが、市役所の業務を希望される方がいらっしゃいますので、年により大学生が市にインターンシップを申し込んで、職場体験などを実施しているケースはございます。

坂本委員

確かにすべてをセットアップするわけではなく、高校生なのだから行きたいところに自分で申し込むというのも1つの勉強かなと思って、今感心して聞いていました。

すいません、会社で人事部に在職していたものですから、素晴らしいなど。

それから、もう1点のPTAの組織の検討だとかPTAと地域を繋ぐというのは、具体的にどのようなお話が出ていたのかをわかれば教えてください。

山田指導主事兼主幹

まず、PTAの組織等に関してなのですが、近年、久喜市だけではなくPTA組織のあり方が見直しの時期にきております。学校教育や先生方の働き方を見直していこうという流れの中で、PTAの組織自体も適正な運営に変えていこうという見直しの流れがきております。その中で、PTAを任意加入としているところなのですが、そのような部分を踏まえて、活動の見直しや縮小を図っているというのが現状です。

この動きは久喜市に限ったことではありませんが、その中で、PTAの方だけで実施できる活動は非常に少ないところもあるので、PTA活動を地域と繋いでいく方策として、地域学校協働活動推進員の委嘱を始めたところであり、学校と保護者だけでなく地域の活動をとおして学校を核とした運営、活動をしていこう、学校と地域を繋ぐ中にPTAと地域も繋いでいこうという流れでお話をされておりました。

よろしくお願いいたします。

坂本委員

どうもありがとうございます。よくわかりました。

影山議長

よろしいでしょうか。

坂本委員

はい。

影山議長

はい、その他にいかがでしょうか。

先に進めてもよろしいですか。

ではないようですので、「まなびすと久喜」について事務局からご説明をお願いいたします。

山田指導主事兼主幹

はい、では資料4をご覧くださいながらお聞きいただければと思います。

第14回久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」についてご説明いたします。

まず、本大会の趣旨ですが、市民に広く生涯学習の楽しさやすばらしさを体験していただくとともに、日頃の学習活動の成果を発表する場として、また共に学ぶ喜びをとおして市民全体の生涯学習意欲を喚起し、新たな「まちづくり創造」へ寄与することを目的として開催することとしております。

基本方針につきましては記載のとおりとなりますが、今年度は令和8年2月1日日曜日、この生涯学習施設「まなびすポット」と鷺宮行政センターの4階を利用して開催するものでございます。今回の大会テーマは、「出会い、ふれあい、まなびのわ」ということで、この学びの輪を広げていくために生涯学習で皆さんが培っていただいているものを発表したり展示したりする場としております。

開催内容につきましては、1月31日に準備をさせていただきまして、2月1日に開催となります。今皆様がいらっしゃるこの5階におきましては、この教室で開会式と発表会を行い、オープンラウンジでは喫茶物品販売、市大、高大室におきましては、市大、高大の授業の内容の展示を予定しております。4階の会議室、ラウンジでは、展示や体験コーナーを行うような形で考えております。1階ロビーにつきましては、総合受付として4階、5階に案内するような形で考えております。

徐々に申し込みも来ているところではございますが、まだまだ空きがございますので、ぜひ生涯学習推進会議の皆様にもお声掛けをいただきまして、多数の発表やイベントへのご参加を促していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

影山議長

今ご説明がありましたが、委員の皆様から何かご質問とかご意見等はございますか。

よろしいでしょうか。

私の方から議長としての立場もあるのかなと思うのですが、資料4の中の番号で言う

と4番の共催というところを見ていただくと、1番目に久喜市生涯学習推進会議あるんですね。もちろんこの「まなびすと久喜」には委員の中からもたくさんの方がイベントに参加したり、係活動等で参加していただいているのですが、この前の実行委員会があった時に、大体顔ぶれが同じような人たちで、年々数が少なくなっていて「まなびすとフォーラム」を含めて「まなびすと久喜」という他の市町にはないような特色のある生涯学習の大会が非常に限られた人数で運営されているわけですね。非常に忙しく働いている姿や苦心している姿を見ると、一言で言えば本当に大変だなというのと、もう1つはこれからこの大会は続けていけるのだろうかというふうに思うことがあります。

何が言いたいかというと、ここにいらっしゃる皆さんが1人でも2人でもこの「まなびすと久喜」に、いわゆる運営というかお手伝いをしていただけると本当に助かると、毎回参加させてもらって思うんですね。

資料の2の中にもありましたけれども、やはり私も含めて高齢化が進んでいて、重いものを運んだりするのもままならなくなっているということがあるのです。なので、本当に今ここにいらっしゃる皆様の一人一人のご参加をいただければ、井上委員長も含めて実行委員の方たちが非常に助かるのではないかと思いますので、ぜひ皆様、開催日は2月1日と決まっていますので、ぜひ時間空けていただいて、参加していただければ大変助かるかなと思いますので、このような場所で私見のようなものを言うのもなんですけれども、ぜひお願いしたいなと思います。

余計なことを申し上げて大変申し訳ないのですが、本当に大変なので皆様のご協力をお願いしたいと思います。

失礼しました。

折原委員

はい。

影山議長

折原委員をお願いします。

折原委員

はい、社会教育委員で参加しております折原でございます。

質問があります。資料4に共催ということで久喜市生涯学習推進会議、もう1つが第14回「まなびすと久喜」実行委員会、久喜市教育委員会とありますが、主催はどこが行うのかというところをまずお伺いいたします。

2点目といたしまして、資料1にはあまり触れられなかったように思うのですが、資料1に当会議の条例が載っております。この中で、当会議でやることが第2条にあります（1）は生涯学習の推進のための提言に関する事、もう1つが（2）の生涯学習の推進に関する基本的な指針の策定に関する事の2つでございます。ここから当会議は会議体であり、事業体ではないということがわかるかと思いますが、「まなびすと久喜」の共催のところに久喜市生涯学習推進会議があるのはどういう意味なのか。

3点目といたしまして、この会議の中で話し合われたことが、会議を招集している市長に対してどのような形で届いているのかをお伺いします。

以上です。

影山議長

はい、ありがとうございました。

すみません、ちょっともう1つ私の方が聞き取れない部分があつて申し訳なかったのですが、まとめると、全部で3点でよろしいでしょうか。

折原委員ちょっと申し訳ないのですが、端的に言うと第1点目は主催がどこかですね。

折原委員

1番はじめに当会議が記載されているので、そもそも順番はあまり意味がないのですが。

影山議長

主催はどこかというのがまず第1点と第2点目が



折原委員

はい、第2点目が資料4の「まなびすと久喜」について、当会議が共催として臨むにあたり、条例第2条（1）（2）のどちらを根拠に私たちが取組んで共催していくのかというところ。

3点目が資料1を見ると、この会議は市長が招集している会議であります、会議に市長がおられないというところで、会議の内容がこういった形でどのように伝わっているのかという質問であります。

影山議長

はい、ご回答をお願いできますか。

田中主幹

はい、生涯学習課の田中でございます。

主催の関係につきまして、回答させていただきます。

共催という形になっておりますが、共同で主催するという形、企画や運営などを含めて催し物を共に実施していくという考え方となりますので、あえて主催がどこというような形にはなっておりません。

1点目については以上です。

鈴木係長

はい、生涯学習課の鈴木です。

2点目の生涯学習推進大会がどちらの所掌事務にあたるのかということでございますが、厳密に分けるのはなかなか難しい部分があるかと思えます。と言いますのも、久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」は、久喜市生涯学習推進計画の方に位置付けられている事業でございますので、久喜市の生涯学習の推進に関する基本的な指針の策定に係る部分でもあり、事業の実施について、当会議でご意見等をお伺いしていることから生涯学習の推進のための提言をいただく部分でもありますので、どちらかに区分するのは難しいと思っております。

3点目は、当会議の内容が市長にどのように伝わるのかというようなご質問でよろしかったですでしょうか。

影山議長

よろしいですかね。

折原委員

はい。

鈴木係長

はい、会議の内容については、細部まで市長に報告するという事ではないのですが、会議の内容を市ホームページに掲載をさせていただきますし、会議で検討された事業報告などを基に、生涯学習推進計画の進行管理をするとともに、会議の検討内容を基にして次期計画の策定をし、計画の決裁を市長にいただくことから全体的な部分で伝わっているというような解釈でいただければと考えております。

以上です。

影山議長

折原委員よろしくお願いします。

折原委員

はい、ありがとうございます。

主催については、生涯学習推進大会「まなびすと久喜」の事業に対して、各団体が全く均等に責任をとるわけではないと誤解されないように取り組まなければならないというふうに思いました。

2点目の条例の根拠について、両方であるという内容というところで、不明確な関わりと共催の最初に当会議名が出てくるというのが、ちょっとアンマッチなのではないかというふうに

感じました。

3点目の市長への伝わり方について、委員の委嘱などをした方なのですから、市長から課題解決や問題への取り組みについてのお話があつてしかるべきなのかなというふうに感じました。

なぜかという、10月16日木曜日、この会場で社会教育委員会議がありまして、本日の資料と大変類似した資料の配布がありました。私たちは、第1回の会議で令和6年度の報告は受けていて、10月16日の会議では令和7年8月31日までの5か月間の進捗状況などの報告を会議で諮らせていただきました。

その中で、委員の方から社会教育委員会議と生涯学習推進会議で同じようなことをしているので、本当に会議で集まる意味があるのでしょうかというような意見が出ました。意見を出した方は、前年度までこの会議に参加していた方で、事務局として回答した経験があり、久喜市の生涯学習についてもものすごく職業として、また使命感を持って取り組まれていた方なのですが、この会議に対して提言をしてもらいたいということでありました。

現在の生涯学習事業に対して皆さんで守っていこうというよりも、例えば、市民大学、高齢者大学の在校生の人数は定員を下回る状況であるので、時代にあわせた改革が必要なのではないかなどの新たな提言をこれからしていくべきではないかというような個人的な意見をおっしゃられました。

それを年3回の社会教育委員会議では、中々そこまでできないかもしれないのですが、社会教育委員協議会というものがございまして、社会教育委員同士が自ら圧倒的当事者意識を持ってお金を出し合いながら、社会教育委員会議ではできないところを協議する場を設けております。この協議会では、市ホームページを見ていただくとわかると思うのですが、青年教育、青年活動の推進が今後の生涯学習における重要なポイントであるという提言書を、令和6年3月14日に提出しました。

今後、この提言についてこれからみんなで話し合っていこうということになっておりますので、追って皆様や市長に報告ができるような、または社会教育、生涯学習事業をただ守るのではなく、それを壊してさらに新しいものをつくり出していくように取り組んでいく可能性のある意見が出ましたら、ご案内できればというふうに思っております。

唐突で意地悪な質問にとられてしまったかもしれないのですが、ご質問させていただきました。

長く話して申し訳ございませんでした、以上です。

影山議長

ありがとうございました。

今の折原委員のおっしゃっていることが、多分皆さんにどれくらいまで、このようなことをいうのは折原委員に大変申し訳ないのですけれども、伝わったかはわからないのですが、私はよくわかりましたので折原委員がおっしゃったことを少しでも反映できるような方策を考えていけばいいのかなと思っています。その時は、皆様の方にお知らせできればいいのかなと思います。

もし、他になればこれで終わりにしようと思うのですが、他にいかがでしょうか。

横須賀委員

今の折原委員の質問の答えを聞いている間に目についたのですけれども、「まなびすとフォーラム」は主催として生涯学習推進会議ほか2団体が記載されていますが、来年2月に実施する「まなびすと久喜」は共催と記載されています。

共催の目的は先ほど答えなかったのですけれども、そうすると「まなびすとフォーラム」を主催と記載してあるのはどうなのかなという疑問があります。やはり主催は1つ、それに共催するというイメージであるのですけれども、このあたりをちょっと整理した方がいいのかなという感じがありましたので、一応意見として出しておきます。

以上です。

影山議長

確かに今横須賀委員がおっしゃったように感じますので、このあたりは検討をしていただければと思いますがいかがですか。

よろしいですか。

田中主幹

はい、すいません。

主催と共催、それぞれの大会で表記が違い、あやふやになっておりますので、これについては検討させていただいて、統一させていただければというふうに考えております。

以上です。

影山議長

それでは、他にございますか。

なければ、議事をすべて終了したものとして、議長の任を解かせていただきたいと思います。委員の皆様、どうも今日はありがとうございました。

ご協力ありがとうございました。

司会（田中主幹）

影山議長ありがとうございました。

ここで、新たに委員となられました久喜市内小中学校校長会の野間口委員がいらっしゃっておりますので、簡単にごあいさつをいただければと思います。

野間口委員

はい、昨年まで私は生涯学習課にいたので、皆様には大変お世話になりましたが、今年から栗橋東中学校に行きましたので中学生とともにいます。

今回、私立場が変わりまして生涯学習推進会議委員ということで、精一杯やっていきますので、皆様今後ともよろしく願いいたします。

私からは以上です。

司会（田中主幹）

はい、ありがとうございました。

それでは4、その他でございます。

生涯学習推進部からご連絡がございます。

井上副議長お願いいたします。

(井上副議長から連絡事項)

司会（田中主幹）

井上副議長ありがとうございました。

その他、委員の皆様から何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

ないようであれば、長時間にわたりご協議いただき、誠にありがとうございました。それでは閉会にあたりまして、井上副議長にごあいさつをお願いしたいと存じます。

井上副議長

はい、今日は多大なるご意見が活発に出ましたことに心より感謝申し上げます。

これから「まなびすと久喜」に私ども推進部は向かってまいります、お1人でも快く当日ボランティアでも構いませんので、ぜひ参加していただけますことを願っております。

今日は、長時間にわたりましてどうもありがとうございました。閉会の言葉とさせていただきます。

ありがとうございました。

司会（田中主幹）

ありがとうございました。

次回の会議につきましては3月ごろを予定しております。

決まり次第またご連絡の方をさせていただきますので、来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、令和7年度第1回久喜市生涯学習推進会議を閉会とさせていただきます。

皆様お気をつけてお帰りください。

どうもありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和7年11月18日

議 長 影 山 悦 夫

(注)特に署名等を要しない審議会等については、事務局名を記入する。